ぜんせき
THE ZENSEKI

第7533号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

4月6日（水曜日）2016年（平成28年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

論説

石油販売業界にとって極めて深刻な問題に発展する可能性があるのに、業界側の主張をことごとく否定したうえで、議論を一定の方向に誘導しようとしているとしか思えない会議が行われている。環境省の中央環境審議会自動車排出ガス専門委員会のことである。

この委員会は現在、揮発性有機化合物（VOC）削減の一環としてガソリンベーパー低減対策の強化を検討している。全石連は昨年9月のヒアリングで「計量機でベーパー回収する方式（ステージⅡ）にすれば1SS平均1000万円前後の新たな投資が必要となる。中小零細事業者が多いこの業界ではSSの廃止・廃業を余儀なくされる」と実情を訴え、「離島や過疎地をはじめ、災害時にエネルギーの最後の砦となるSSがこれ以上、減らないよう特段の配慮をお願いしたい」と強く求めた。

一方的な環境省VOC対策

同時に、石油連盟などとともに給油時だけでなく駐車時や走行時にもベーパーが出ていることなど考慮すると、車自体に蒸気の回収装置を装着するORVR方式の方が低減効果が大きいことなどを訴えた。

ところが3月29日に行われた同委員会で環境省が用意した資料は、業界ヒアリングで全石連や石油連盟が主張した項目のほとんどを専門委員によるコメントを使って否定し、ORVR方式ではなくベーパー回収型の計量機での対策が最もふさわしいと思わせるような記述で埋め尽くされているのである（1日付1面に詳細）。関係筋によると環境省の原案はもっと露骨に計量機での対応が望ましいと表現されていたため、関係省庁間の折衝でなんとか取り下げられたが会議そのものは業界の懸念を無視して、計量機対応案で押し切ろうとする説明に終始した。

この会議にオブザーバー出席していた資源エネルギー庁担当者がたまらず手を上げて発言を求め、石油業界は過去の条例対応による荷卸し時のベーパー回収や、油槽所の密閉性向上などの取り組みでベーパーを大幅に削減した実績が資料に反映されていないことなどを指摘し、居並ぶ専門委員にあらためて真の理解を求めた。

SSの存廃に関わる大事な議論が、新たな事実や公平なデータ開示がないまま「結論ありき」で進められていることに強い不信を覚える。これは業界の深刻な危機である。この議論は業界全体が注視し、時には声を大にしていかなければならない。

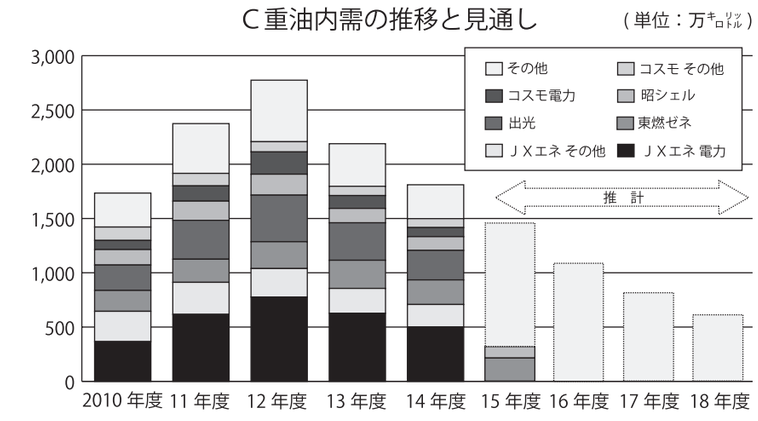
東電「ゼロ石油火力」へ
震災支えたC重油に最後通牒!?

C重油の最大需要家である東京電力が2018年度中に石油火力を全停止するという報道が流れた。3・11東日本大震災から丸5年を経過し、全原発が停止する中で国内の電力需要を支えて再評価された石油だったが、「環境」と「効率」という両面で、電力から〝脱石油〟どころか〝ゼロ石油〟を突きつけられようとしているもので、元売各社の今後の中期計画や精製2次装置構成にも影響を与え、ひいてはガソリン需給にも大きな影響が出そうだ。

石油火力は、1966年度に石炭を抜いて国内電力の電源トップとなり、石油危機による国策としての「脱石油」によって、85年度に液化天然ガス（LNG）と原子力に抜かれて3位に転落する間の丸20年間はトップ電源であった。ピークの73年度のBC重油シェアは1億1千万キロリットル（うち電力向け3405万キロリットル、別途に原油生炊き2360万キロリットル）で燃料油内需の約半分、当時2700万キロリットルだったガソリンの4倍以上を占めた。その後、相場要因による多少の増減はあったものの、ほぼ一貫して減少を記録し、2009年度には1643万キロリットルまで減少、うち電力向けは558万キロリットル（このほか原油生炊き364万キロリットル）まで低下した。

ところが3・11による石油火力復活で、12年度は2744万キロリットル、うち電力向け1607万キロリットル（原油1348万キロリットル）となり、精製元売はごく短期間で3倍近い火力発電ニーズに応える実績を挙げた。「連産されてしまう他の燃料の需給を悪化させ、採算性を損なってでも、C重油供給を確保した」というのが当時の実態だ。このことを踏まえて、石油連盟は昨年5月に、「電源の長期的な計画外停止などに備えた予備力として、どのような電源を位置付けるかを検討することが必要」、「最近の実績を踏まえ、エネルギー基本計画でピーク電源および調整電源とされている石油火力の位置付けを明確にすることが必要」、「予備力として石油火力を活用するためには、緊急時のみの運用では国内サプライチェーンを維持できないため、石油火力の平時からの一定稼働が必要」と提言した。長期見通しで30年に3%とされた石油火力の位置付けに対し、「リプレース」を前提に「上方修正を求めた」ものであったが、「電力からはゼロ回答が帰ってきた」という経緯となる。

元売各社のC重油の近況（3月期14年度、12月期15年実績）は12年度以降は再び減少に転じているが、最大手JXエネが708万キロリットル（うち電力向け501万キロリットル）、出光272万キロリットル、東燃ゼネ214万キロリットル、コスモ166万キロリットル（電力向け82万キロリットル）、昭シェル107万キロリットルとなっており、東電・ゼロ石油の影響は、JXエネが最も大きいとみられる。さらに、元売各社には「一定の役割を石油火力が担う」ことを前提に組み立てられてきた中期計画、今年度末期限の第2次高度化法対応など、大きな修正を余儀なくされるもので、今後はガソリンや中間3品需給にも影響が出てきそうだ。



エネ庁需要想定
販売減受け協業化検討
さらなる石油増税絶対反対

総合資源エネルギー調査会資源・燃料分科会石油市場動向調査ワーキンググループが1日に開催され、2016～20年度までの今後5年間の石油製品需給見通しをまとめた（4日付既報）。委員として参加する全石連の河本博隆副会長・専務理事（写真中央）は「ガソリンなどの需要減を受け、SSがどのように生き残っていくかを真剣に考えていかなければならない」としたうえで、「SSの生き残りは石油の安定供給確保にもつながる。エネ庁の支援などもいただきながら、販売業者の協業化や共同配送、タンクの共同利用を検討していかなければならない」と述べた。一方、CO_2削減を目的とした環境税論議が浮上していることに「環境税の導入は石油需要の下振れリスクになる。石油へのこれ以上の増税は絶対反対を訴えている」と強調した。

一方、石油連盟の奥田真弥専務理事は20年の東京オリンピックを控え、「外国人旅行客らによる観光地へのレンタカー利用の拡大など、インバウンドによる石油需要の上振れを期待している」などと述べた。

G卸 昭シ据置きEMG5.5円高

昭和シェル石油は6日からのSS向けの週決め仕切り改定を通知した。特約店筋によると、前週比でガソリン、灯油、軽油、A重油はいずれも据え置きとした。

◇　◇

EMGマーケティングは5日からの系列向けの仕切り改定を通知した。代理店・特約店によると、前週比でガソリンが5・5円の値上げとしたほか、軽油も5円の値上げ。

2月G購入量38リットル強
総務省

総務省がこのほど公表した2月家計調査によると、2人以上世帯のガソリン平均支出額は前年比670円減、前月比254円減の3983円となった。平均購入量は前年比1・79リットル増、前月比1・24リットル増の38・1リットルとなった。平均購入単価は前年比23・62円安、前月比3・16円安の104・6円だった。

うち勤労世帯分の平均支出は5077円（前年比817円減、前月比351円減）、購入数量は48・77リットル（2・7リットル増、1・76リットル減）。単価は104・11円（23・84円安、3・34円安）。

主要都市別では、支出大が①山口7332円②山形6966円③水戸6118円④鳥取5735円⑤浜松5613円、5都市平均は前月比713円安の6353円。支出小は①東京区部1153円②大阪1156円③神戸1362円④川崎1895円⑤相模原2086円、5都市平均は3295円安の1530円。

増税PRチラシ活用

【柏】1日から地球温暖化対策税が増税されていることに合わせて、本紙がぜんせきweb内で「温対税増税PRチラシ」を提供しているが、同チラシを活用してドライバーに増税をPRする姿が見受けられるようになってきた。

千葉県柏市の伊藤商事沼南町SS（JX系）

同チラシは、温対税が1日から1リットル0・26円増税されることだけでなく、1リットルあたりのガソリン税や石油石炭税などの価格構成などをわかりやすく記載しており、配布しているSSからも好評を得ている。

なお、同チラシはぜんせきweb「経営サポート」内の「ダウンロード資料」に入っている。

本紙では、SS店頭掲示用のポスターも3月14日付で全石連と石油連盟が作成した温対税の追加増税PRポスターを挟み込んでおり、ポスターとチラシを連動した告知活動に活用されたい。

環境省「炭素の価格化」検討へ

環境省は先ごろ発表した「パリ協定から始めるアクション50－80～地球の未来のための11の取組～」の中で、炭素税や賦課金、排出量取引など、「炭素の価格付けに関する制度」（炭素の価格化）の導入を検討していることを明らかにした。

今後は技術のほか、ライフスタイルや経済社会システムの変革を視野に入れ、社会構造イノベーションの絵姿として、長期低炭素ビジョン（仮称）を策定し、中央環境審議会で検討していく予定。

「炭素の価格化」には、CO_2の排出量に応じて課税する炭素税や排出量に上限を設けて企業間で不足分や余剰分をやり取りする排出量取引がある。同制度を長期的視点から検討すべき取り組みの1つとして挙げている。

元売トップ 入社式あいさつ

1日の元売入社式でのトップあいさつの概要は次の通り。

JXエネ・杉森務社長「石油精製販売事業における事業基盤をさらに強固にするための構造改革を成し遂げ、国内外での存在感を高めていく。石油製品販売事業の海外進出も大きなテーマだ。さらに、将来の事業の柱とするべく、電気・ガス・石炭・水素といったエネルギー供給への取り組みも進めている。私が目指す姿は『機動力があり、いきいきとした、信頼される』会社。皆さんには『変化への前向きなチャレンジ』『積極的な対話』を期待している。チームENEOSの一員として、目標を高く持って仕事にあたり、人間的に大きく成長してほしい」。

出光・月岡隆社長「皆さんがそれぞれの強みを磨き、先輩や同期、将来の後輩、未来のパートナーである昭和シェル石油の仲間達と多様な価値観・個性をぶつけ合ったうえで、力を合わせて変革を起こし、新たな価値を生み出すことを期待しています。出光は、経営統合によって新しい会社となった後も、社会的責任を果し、信念を貫いて行動することで一目置かれ、『世界にこんな会社が1つぐらいあってほしい』と思われる会社であり続けたいと思います。大きな志を持って、思う存分仕事にまい進してください」。

東燃ゼネ・武藤潤社長「3つのテーマで話をしたい。『企業理念』として私たちは3つ、社会、環境、ステークホルダーへの使命を掲げる。次に価値観として安全・健康・環境、正直・誠実・公正を大切にしている。判断に迷った際、常にこの価値観に立ち戻ってほしい。もう1つは『期待する人材』で、企業の付加価値を生み出す人財として、改善の機会を追求し当事者意識を持ち、率先して物事に取り組んでほしい。最後に目指すべき『会社と従業員の関係』で、働く人が活き活きとやりがいを持ち働ける職場、心身ともに健康であってこそ生産性の高い仕事ができる」。

昭シェル・亀岡剛社長「石油業界は大きな変化を迎えている。私の入社時は間違いなく石油会社だったがそれから40年を経て、石油・電力・ソーラーを供給するエネルギー企業に進化した。お客様のニーズの変化を対応してきた結果である。皆さんが私の年齢になる頃にはまた違うエネルギーを扱っているかもしれないが、最も大切なのは重要な財産である人材、皆さん一人ひとりである。現在、出光興産との経営統合に向けた準備を進めているが、新しい会社を作っていくのはあなたたちで、皆さんの活躍次第によって将来は大きく変わっていく」。

コスモHD・森川桂造社長「皆さんの出発に際し、2つの事を話したい。第1はコスモエネルギーグループで働くことの意味・意義をしっかり理解することだ。当グループは人々の命と暮らしを守る製品を扱っている。必需品として日々の暮らしに深く入り込んでいるため、時にその重要性に気づかない。神戸や東北などの大災害時に改めて気づく。当グループで働くことが人々や社会に貢献することになる。第2は皆さんがこれから与えられる仕事に全力で体当たりすることだ。これからグループの一員として1日1日を光輝いた顔で、精一杯仕事に体当たりしてほしい」

太陽・岡豊社長「入社したいまこの瞬間から、太陽石油社員として社是の1つである『進取積極』を旨とした行動が求められていることを、常に自覚しなければならない。他には『独立自尊』という言葉があり、これは会社が格式と威厳を保ちながら単独で存続していく姿勢を示しているが、この姿勢を貫いていくのは並大抵の事ではなく、社員全員のたゆまぬ努力が必要である。『共存共栄』という言葉もあり、これは同業他社や取引先、協力会社、地域の皆様との協調を前提として、独自性を貫いていくことであり、社会の皆様と会社・社員がともに発展していくことであると認識してほしい」。

ポンプあいらんど

▼今月から電力小売りが自由化された。解禁にあたっては、元売をはじめガス、通信、鉄道、自治体までが参入に名乗りを上げ、それぞれの抱える事業分野とのセット割メリットを前面に、ユーザーの争奪戦を展開している▼そのセット割の内容も実に様々。ガスなど主力商品とのセットもあれば、携帯電話、CATVとのセット、あるいは共通ポイントサービスでの連携。中には自治体による水道料金とのセットという変わり種もあるという。それぞれが事業の特色を生かして顧客にアピールしようということなのだろう▼全面自由化に伴い、当然考えられるのが、価格競争の過熱。そこで、過度なセット割引きの禁止などを盛り込んだ電力取引についての指針が、先月、経産省と公取委により示されたという。同指針は主に大手電力会社の行為を規制する想定で示されたとされ、迎え撃つ側の圧倒的優位性に対する公平性確保を狙った形か▼「電気会員最安価格レギュラー89円」。仕切り、業転とも上昇する中、HC併設PBセルフを大幅に下回る表示が問題視されている。前述の電力取引での指針では電気部分の料金が発電や送配電網の使用料金などの原価を下回るかが基準とされている。同看板を掲出する系列の電気料金は他社比較では高めの設定らしいが、本業の原価はどうなのだろうか。

きょうの紙面
2面　九州でコスト転嫁機運
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　北海道版・道家庭用エネ実態調査／九州版・福岡・野口氏が講演
4面　トレンド　ア・ラ・カルト／フォーカス関東

ニュー・マイコンホームローリー
TATSUNO
スピーディーな灯油配送はタツノのローリーで！
50年以上の販売実績＆安心のサポート体制
350型 軽トラックで狭い路地もスイスイ配送
500型 8ナンバーの軽トラックに搭載OK
1000型 8ナンバーで850kg車への架装もOK
1400型 1.5トン車など、ちょっと小さめのトラック用
2000型 一回にたっぷり積んで効率配送
●大きく見やすい電光表示カウンター【全機種】
●電動リールで引出しもラクラク【1000/1400/2000】
●夜間作業も安心の手元照明【1000/1400/2000】（オプション）
●簡単便利なプリセット&リピート【全機種】（オプション）
●機能別の大型スイッチ【全機種】
ホースは横方向でも引き出せます。
●ローリーメイト5（オプション）有線式
ローリーから離れていてもその場で伝票発行
日計や請求データも自動作成
万全のメンテサービス網を完備 全国79カ所の直営ネット
株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　http://www.tatsuno.co.jp/　050-9000-0567（営業本部営業部）

九州でコスト転嫁機運

業転上昇、PBも反転

九州各県で仕切価格の上昇に伴って価格転嫁の動きが広がっている。安値量販店の一部SSでも「利益のダウンが限界に来た」として、利益重視の姿勢に転じる動きも出てきており、市場の正常化につながることが期待される。

口銭圧縮もう限界

九州地区では3月中旬から堅調に転じ、前週末の価格は福岡が105～7円、佐賀が104～7円、長崎が103～111円前後の水準だった。

その後、仕切価格がさらに上昇したことで、低価格の量販店との販売競争でコスト転嫁に踏み切れなかったSSも、大幅な仕切りアップに値上げに踏み切らざるを得ない状況となった。さらに量販店の中にも小刻みに値上げする動きを見せ始めるSSが増えてきた。

このため熊本市や周辺地域では、今週に入ってガソリン価格が5円前後値上がりして109～112円、軽油も4円前後値上がりして85円前後となった。出遅れていた福岡や長崎などでもコスト転嫁の動きが出てきている。

その背景には市場に出回る業転玉の価格が上昇し、系列玉との価格差が縮小していることが挙げられ、大幅なコスト上昇にPBSSも含めて収益が圧迫されているという事情もあるとみられる。「このままの価格を維持していたのでは、収益はますます悪化する。競争は厳しいがここで値取りしておかなくては」（熊本、福岡県のSS）と訴える。

一方では、仕切価格の上昇に対する不信感も高まっており、「原油価格の見通しがはっきりしないこともあるが、理由がよくわからないまま小刻みにアップダウンしていくので不安だ」という声も聞かれる。

11日から配達 灯油2円アップ

コープあおもり

【青森】コープあおもりは11日から配達灯油価格を2円値上げし、ホームタンクお任せ給油で55円（18㍑990円）とする。お任せ以外のホームタンク100㍑以上は56・5円、ポリ缶・ホームタンクは57円（1026円）。

ガソリン前月比 0・2円上昇

岩手県モニター

【盛岡】岩手県がまとめた3月の石油製品価格調査（3月24～29日）によると、レギュラーガソリンは前月比0・2円値上がりの112・8円となった。最高価格は121円、最低価格は106円。

灯油（18㍑）は店頭価格が9円値上がりの970円で、最高は1170円、最低は846円。配達価格は11円値下がりの1083円、最高は1260円、最低は936円。地域別のレギュラー価格は、盛岡広域が110円、県南広域が112円、沿岸広域が117・8円、県北広域が114・9円。配達灯油は盛岡1060円、県南1091円、沿岸1131円、県北1042円。

コストコ東北2店でG続騰

【富谷町＝宮城】コストコ富谷倉庫店SSは4日にガソリン価格をレギュラー100円、ハイオク110円とした。ガソリンは2日から1円上げて99円としていたが、さらに1円上げた。軽油は76円、灯油は42円で据え置き。

◇

【上山＝山形】コストコかみのやま倉庫店併設SSは4日からガソリン価格をレギュラー103円、ハイオク113円とした。2日から1円上げ、さらに4日から2円上げた。灯油は41円、軽油は77円で据え置き。

J本田 G上げ103～106円

ジョイフル本田の運営する8SS（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（NT）店、千葉店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）は3日、全店でレギュラーガソリンを大幅に値上げし、新田は106円、千代田、宇都宮、幸手、瑞穂は105円、千葉3SSは103円とした。上げ幅は幸手、瑞穂が4円、他6SSは3円。灯油は全店で1円上げ、新田が49円、千代田、宇都宮、幸手、瑞穂が46円、千葉3SSが45円となった。

軽油も全店で値上げし、新田、千代田、宇都宮は79円、瑞穂は78円、幸手は77円、千葉3SSは75円とした。上げ幅は瑞穂のみ3円で、他7SSが2円。

J本田はRG値上げし103～6円とした（写真は千葉NT店、4日）

商売を超えてこそ

信頼感

ズームアップ　東西南北

栃木石商副理事長　瀧澤　資介氏

「安売りに巻き込まれてはいけない」と栃木石商の瀧澤資介副理事長（那須塩原市、ウエタケ社長・EMG系）は話す。中途半端に安値競争に参戦しても、「1円でも安くを優先する客層は来店しない」と強く訴える。

「高くても来店していただけるお客様を大切することだ」と言う。「大切にする方法は地域密着だ」と経営の基本姿勢は崩さない。瀧澤氏は地域活動にも積極的に取り組み、商売を超えた地域との触れあいを重視する。こうした取り組みは地元紙でも取り上げられ、「お客様からの信頼につながっている」と言う。

スタッフも適正な収益をいかに確保するのかを考え、周辺SSの価格に追随した値下げ競争には賛同しない。また、現場からの提案で約10年前からオイルやエレメント交換の工賃を別途請求するようにしたが、「お客様からのクレームは1件もない」と言う。

「高くても来店してくれるお客様は燃料油や洗車をはじめ、タイヤ、オイルなどすべて任せてくれる」と信頼関係の重要性を訴え、「我が社はお客様に恵まれている」と感謝の気持を述べる。

外国人労働者雇用検討へ

人材確保難で対応探る

神奈川

【横浜】神奈川石商政策委員会（澁谷彰樹委員長）は先ごろ開催した会合で、SSの人材確保・育成に関して議論を行い、今後、外国人労働者の雇用を組合事業として取り組むことができないか検討することで一致した。

SS業界における人材不足は、ここ数年深刻化している。会合でも「アルバイト・パートを募集してもほとんど来ない」、「業界の先行きが見えないと考えているのか、社員の定着率が良くない」などのSSの人材確保に関し厳しい意見が相次いだ。

これを受け、同委員会として少子高齢化が進む中での雇用情勢の先行きを見通して、鈑金・整備などの言葉の壁が問題にならない職種がSS業界においても増えていることから、外国人労働者の雇用について本格的に検討することを決めたもの。

来年度は9月27日開催

チャリティコンサート

神奈川

【横浜】神奈川石商広報委員会（木所章委員長）は先ごろ開いた会合で、今年度実施する街頭イベント、チャリティーコンサート、ゴルフ大会など恒例の広報事業の実施方法などについて検討した。

また、会合では2017年度のチャリティーコンサートを9月27日に開催することを決めた。

地方活性化に「産学」連携

新規事業案など成果発表

愛媛・三原産業が参画

三原産業（三原英人社長・JX系）、企業研修などを手がける「デキル。」（小野裕子社長）、松山短期大学（上杉志朗学長）はこのほど、松山市内で連携イノベーションプロジェクト「南予地方の新しい明日をつくる」の成果発表会を行った。プロジェクトは昨年10月から「デキル。」の支援を得ながら、学生と三原産業社員が連携して愛媛県南予地方の特産品・観光サービスなどに関する新規事業案を創り出そうと取り組んできたもの。同社は、SS運営を中心としたカーライフ総合サポート提案企業として地元産業や地域社会の発展に貢献してきたが、今回もその一環となる。

プロジェクトは学生2人、同社社員1人の3人1チームで構成された全6チームが昨年10月9日～今年3月18日までの約6ヵ月間にわたる研修などを通じ、学生・社会人の壁を越えた体験セッションや1日体験入社、現地調査などを行い、南予地方の特産品、観光サービスに関する新規事業案の策定に取り組んだ。

「選考には頭を痛めた」と説明する三原社長

発表会では①特別なおにぎりビジネス②南予地方の活性化を図る手段としてアプリゲームの採用③南予全域の食を1ヵ所に集約する新しい形式の広場などの成果を報告。プロジェクトをサポートしてきた小野社長は「約200時間かけた真剣な取り組みの成果が出ている」と高く評価。上杉学長も「それぞれの取り組みは工夫がなされており、将来につながると確信した。3者が一体となって取り組んだ成果であり、今後の人生で必ず役立つはず」と述べた。

最優秀2チームの表彰を行った三原社長は「6チームの案件はどれも画期的、ユニークで、選考には頭を痛めた。今回は事業性や収益性は重視せず、南予の人が特に喜ぶだろうと思えるものを選定した」と説明した。

（松山発）

各地企業新入社員入社式

伝統守りながら 新しい事業へ

関彰商事

【つくば】関彰商事（茨城県筑西市、関正樹社長・JX系）は1日、つくば市内で新入社員入社式と、勤続10年の従業員を対象とした表彰式「飛躍の会」を開催した。

関社長（写真左）は「これだけの新入社員を雇用できる現況を作ってくれた役員や全社員に敬意を表したい。今年度から新しく海外事業に進出し、現地で採用した人材をグループで働ける体制を作る。伝統のあるものを守りながら新しい事業に取り組み、皆さんには我が社にない新しい事業に取り組みを拡大し、たくさんの人を雇用できるように頑張っていただきたい。社会人としての人生を謳歌し、将来の関彰商事を作ってほしい」と期待を寄せた。

関正夫会長は「世の中は新入社員の良さをすべて受け入れてくれるほど甘くはない。そこにぶつかっていくことで、魂と体が鍛えられる。健康に留意して、人生と戦い、その若さで新しい風を吹かしてほしい」と激励した。

〝信用第一〟に 一歩ずつ前進

カメイ

【仙台】カメイ（仙台市、亀井文行社長・JX系）は1日、本社で入社式を行い、昨年度を16人上回る49人（大卒42人、専門校卒2人、高卒5人）の新入社員が社会人としてのスタートを切った。

亀井社長（写真）は式辞で「皆さんに1つだけ申し上げたいのは社是の第1項の『信用第一』ということです。我々の目的は物を売るという行為を通じて、お客様、仕入先、周りの人たちのお役に立つことが仕事。そして一つひとつ信頼関係を築いていくことが大変重要。一歩一歩着実に前進してたくさんの人たちと良い人間関係を築いてください。それができれば良い仕事ができると確信している」と社会人としての心得について述べた。

さらに「人と人との出会いほどありがたく、素晴らしいものはない。これから仕事を通じて自分を磨いて、社会に役立つ人間、そして一日も早く戦力となるよう心から期待している」と激励した。

京都石商 清水の会 研修経営に生かして

【京都】京都石商青年部・清水の会（芝野哲郎会長）はこのほど、京都市内で定期研修会を開いた。社会保険労務士の木村千代子氏を講師に招き、労務リスク管理をテーマに、最近の労使問題の実態や解決策などの講義を受けた。

同会であいさつした芝野会長（写真）は「労使間のトラブルはいまや大きなリスクになりつつある。今回の研修を会社で活かしていただきたい」と述べた。また、6月16日に迫った全石連総会・ビジネス見本市にも、「青年部としても積極的に支援をお願いしたい」などと訴えた。

研修会で木村氏は、最近の労使間のトラブル、労働法規の改正などを解説するとともに「アルバイトやパートを含め、労務管理をしっかり行うことが必要」などと解説した。

クールに現実 分析する力を

忠エネ

伊藤忠エネクスは1日、新入社員（男子18人、女子9人）の入社式を行った。あいさつに立った岡田賢二社長は「エネルギー業界は激動期にある。1日からは電力自由化も始まった。いままでの成功体験が生きず、創造的に考えることが大事になるが、古い偏見やこだわりが随所に出てくるものである。このような時代に必要な資質、姿勢は現実を冷徹な目で見つめ科学的に分析し、原因と対応策を探求する姿勢。これから道に迷う時があるかもしれないが、その時にこそクールに現実を分析する姿勢を身につけておけたらと考える」と述べた。

13日に故・上野豊氏お別れの会

上野グループ

3月6日に100歳で逝去された故・上野豊氏（上野トランステック名誉会長、上野興産会長、全国タンカー海運組合相談役、横浜商工会議所相談役・名誉会長、上野誠元神奈川石商・協副理事長の父）の「お別れの会」が、13日午後0時30分から2時まで、上野グループと横浜商工会議所の合同の会として執り行われる。

場所はホテルニューグランド本館2階「レインボーボールルーム」（横浜市中区山下町10番地、電話＝045－681－1841）。

なお、香典、供花、供物は辞退とのこと。

東燃ゼネ役員人事

▽執行役員電力事業本部長（執行役員電力事業部長）丸山隆之（4月1日付）

キグナス人事

▽キグナス石油販売代表取締役・出向（三愛石油販売取締役社長・三愛石油出向）土橋幸彦▽営業担当部長（キグナス石油販売社長）古寺宏幸（4月1日付）

石井清繁氏

（石井登志夫東京石商品川目黒支部荏原会会計監査の父、石井会長＝JX系）3月31日死去、82歳。葬儀は6日午前10時から、桐ケ谷斎場（品川区西五反田5－32－20、電話＝03－3491－0213）で執り行われる。喪主は妻の千重子さん。

訂正

1日付2面の大坂膺子さんの訃報で、元第一通商会長とあるのは元大一通商会長の間違いでした。お詫びして訂正します。

DATAコーナー

■石油先物市場・4／5

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

限月	14：30現在	前日比
ガソリン（前日出来高3,718枚）		
⑤限月	38,520	▲460
⑥限月	38,910	▲540
⑦限月	38,700	▲610
⑧限月	38,620	▲720
⑨限月	37,910	▲770
⑩限月	37,020	▲850
灯油（前日出来高502枚）		
⑤限月	33,200	▲690
⑥限月	33,490	▲730
⑦限月	33,780	▲780
⑧限月	34,150	▲820
⑨限月	34,650	▲850
⑩限月	35,460	▲770
軽油（前日出来高0枚）		
⑤限月	-	-
⑥限月	-	-
⑦限月	-	-
⑧限月	-	-
⑨限月	-	-
⑩限月	-	-

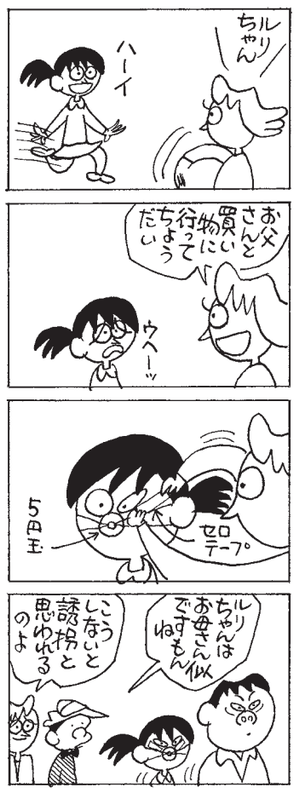
中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

限月	14：30現在	前日比
ガソリン（前日出来高62枚）		
⑤限月	37,200	▲500
⑥限月	37,200	▲450
⑦限月	37,200	▲750
⑧限月	37,860	▲100
⑨限月	37,000	▲500
⑩限月	36,250	▲750
灯油（前日出来高13枚）		
⑤限月	33,500	▲510
⑥限月	-	-
⑦限月	-	-
⑧限月	-	-
⑨限月	-	-
⑩限月	35,500	▲1,580

原油指標

			前日比
国内指標	＄／B	34.93	(▲1.55)
	￥／KL	24,602	(▲1,198)
WTI	＄／B	35.70	(▲1.09)
	￥／KL	25,148	(▲879)

キュー太郎　浜坂高一朗



明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

おかげさまで創業40周年これからも安い・安心・安全製品を業転玉と同じ無印ローリーで、お安くお届け申し上げます

洗車機用撥水コート
ミラクルコート®
おまとめ買いキャンペーン
●全国で2店舗以上のSS様 本社様おまとめ発注・SS別配送で表記価格より大幅値引き致します。
本社様ご要望価格「仕入価格」をご一報頂けましら、当社より即日愛を込めて「特価見積りFAX」を致します。
単独店舗のSS様は、下記特価で2年間続けて購入できる会員申込みされますとお買得です。
お役に立ちます！ 尽くします！ 新しい出会いを心からお待ち申し上げます！ ホームページ・フリーFAXで要望価格を入力できます。ぜひお知らせ下さい。
業転玉・無印ローリーとはノーブランド製造品です。

24,000円の品が1パック
初回お試し価格13,500円
MC-6B 撥水コート　（24,000円が）
10L 1パック…@17,500円
10L 2パック…@15,500円
10L 3パック…@13,500円
10L 6パック…@12,500円
（価格は全て税別です）
各社様の純正品名…原液吐出塗布量30ccに完全対応
ビューティさん FK-2
ダイフクユニックスさん 発泡DUコート
YASUIさん ミラコンコート MX
エムケーさん ファスティGLコート

（10L パック in ボックス）
（20L ポリ缶）
無料サンプルございます

撥水コート MC-2Aタイプ 当社MC-Bの2.5倍濃度です
18,000円→9,500円（初回お試し特価）
撥水コート MC-Aタイプ 当社MC-Bの2倍濃度です
16,000円→8,500円（初回お試し特価）
各社様の純正品名…原液吐出塗布量 Aタイプ 150cc・2Aタイプ 100ccに完全対応
ダイフクユニックスさん DUコート
YASUIさん ミラコンコート
ビューテーさん スーパーファインコート
エムケーさん スプラッシュコート ファスティコート
アベテックさん AI メイク／Uサーフ
ムラキさん ニチボーさん ミラクルコート

環境ホルモン対応 エコ製品製造直販の
株式会社 洗車機商会
リニューアル致しました http://sensyaki.jp
TEL 0120-117-802（イイナ ハチオージ）
FAX 0120-802-115（ハチオウジ のイイコ）
電話受付時間 朝7時～夜7時 土日祭休み
FAXは24時間365日オーダー受付
ご注文商品2個以上は全国無料配送
a01-14

北海道

北海道支局（札幌市豊平区豊岸1条6-3-47 北海道石油会館）
011（822）8117

道家庭用エネ消費実態調査

14年度年間消費 灯油は1326リットル

暖冬で過去最少 97年度比584リットル減

2014年４月～15年３月を調査対象期間とした「北海道家庭用エネルギー消費実態調査（2015エコファミリー省エネアンケート）」の中間集計によると、灯油の年間消費量は記録的な暖冬が大きく影響したため、全世帯平均で1326㍑にとどまった。この調査を開始した1995年度以降では最少で、初めて1400㍑を割った。

この調査は石油連盟北海道石油システムセンターと北海道消費者協会が共同で、1995年度から全道73市町村の一般家庭を対象に継続して実施しているもの。

14年度を対象期間とした今回の調査は496世帯に調査票を配布し、493世帯（99・4％）から有効回答があった。家屋形態は421世帯が戸建で、72世帯が集合住宅だった。

中間集計によると、灯油の年間消費量は全世帯平均で1326㍑にとどまり、調査開始の95年度以降で最少を記録した。灯油価格は高止まりしていた前シーズンと比較すると大幅に安かったものの、記録的な暖冬のため消費量は伸びなかった模様。最も多かった97年度の1910㍑と比べると584㍑も減少している。家屋形態別では戸建が1400㍑、集合住宅が656㍑となり、いずれも調査開始以降最少となった。

灯油ほぼ横ばい

3月・道消費者協会

道消費者協会が3月初旬に調査した灯油・ガソリン価格調査の結果によると、灯油（100㍑以上の宅配）の全道平均価格は㍑59・31円で、前月調査から0・09円値下がりした。前年同月と比べると20・2円の値下がり。全道調査店674店の最多価格は58円（130店）。最高値は77円（1店・釧路）、最安値は45・4円（1店・札幌）。ガソリンの全道平均価格はフル（380店）が111・02円で1円値上がりした。前年同期と比べると29・08円の値下がり。最多価格帯は109円（94店）。最高値は136・1円（1店・留萌）、最安値は99円（1店・帯広）。

セルフ（120店）は106・22円で2・08円上昇した。前年同期比で29・83円の下落。最多価格帯は106円（31店）。最高値は118円（1店・釧路町）、最安値は99円（3店・登別、帯広）。

電力自由化の理解促す

フォーラムに100人参加

北海道

道はこのほど、「ほっかいどう『電力システム改革』フォーラム」を札幌の道庁別館で開催した。電力小売全面自由化の意義と、電力市場への道内企業の参入可能性について理解を深めるためのフォーラムで、一般消費者や中小企業者ら約100人が参加した。

開会にあたって、山根康徳道経済部長が「安定供給の確保、電気料金の抑制、消費者の選択肢と事業者の事業機会拡大を目的とする電力小売全面自由化が4月にスタートする。北海道では3300億円以上の市場が開放されるが、メリットを享受するためには道民一人ひとりが理解を深めてほしい」とあいさつ。

引き続き、資源エネルギー庁が電力小売全面自由化の概要を説明し、道が本州との電力融通が制限されており、電力取引のスポット価格が関西の2倍になっていることなど電力需給の地域特性と道内市場の課題について解説した。

また、小野田弘士早大准教授が「地域の企業や自治体が電力小売に参入する実現可能性や課題および問題点」をテーマに基調講演を行い、電力システム改革の方向性として、地産地消型の独自のモデル、異業種間コラボレーションによる多種多様なビジネスモデルが生まれる可能性を示唆した。

この後、小野田氏をコーディネーターに、エネ庁、エネコープ（トドック電力）、F-Power、かぶちゃん電力、みやまスマートエネルギーによるパネルディスカッション（写真）も行われた。

石連道石油SC

灯油暖房の良さPR

中古住宅のリフォームやリノベーションに向いているとして、再び注目を集めている輻射と温水の２種類の暖房ができるツインヒーター（セミセントラル）を初出展してアピールした。

住宅リフォームフェアに出展

石油連盟北海道石油システムセンターは先ごろ、２日間にわたってアクセスサッポロで開催された「住宅リフォームフェア2016」（リフォーム産業新聞社主催）に大型ブース（写真）を出展した。

住宅会社や建材・設備メーカーなど60社が出展した住宅総合イベントで、住宅の建替えやリフォームを考える一般消費者らが大勢来場した。石油システムセンターは「灯油リフォームで暖かく快適な住まい！」をテーマに、石油ストーブやファンヒーター、エコフィールなどを取り揃えて展示。また、

新所長に今井氏

石連道石油SC

石油連盟は1日付で、今井祐介氏（前調査・流通業務部石油システム推進室マネージャー）を北海道石油システムセンター所長に任命。前所長の東方行氏はJXエネルギー北海道支店に異動した。

事務局人事

◎紋別石協◎

紋別地方石協（薩田和明理事長）は1日付で、雲崎充穂（みほ）さんを事務局職員として採用した。

1972年7月から約44年にわたって事務局業務を1人で切り盛りしてきた桜井茂子さんは3月末日で正職員を退職したが、しばらくはパートとして勤務を続ける。

九州

九州支局（福岡市博多区上呉服町1-15 ふくおか石油会館5階）
092（282）0908

福油会・福岡石商

野口氏招き記念講演会

福油会と福岡石商（喜多村利秀理事長）共催の記念講演会が先ごろ福岡市で開催され、野口石油（北九州市）社長の野口義弘氏が「洗車と磨きで生き残り！　非行少年の更生活動で人手不足なし」と題して熱く語った。

独自技術と信頼で生き残り

人材は、ほめて育てる

一生懸命さで少年たちを評価するという野口氏

野口氏は熊本県で幼少時代を送った思い出を、「小学校の時に1年間病欠し経済的にも恵まれずに悲しい思いをした。食事も事欠く貧しさの中で近所の人たちが様々な面で援助してくれ、非行に走ることはなかった」と語り、「だから私は非行少年の気持ちがよくわかります。周囲の人たちが少年に手を差し伸べることで救うことができます」と述べた。

また、車が大好きだったことから地元のバス会社に就職、24歳の時に北九州で閉鎖されることになったSSの経営を引き受け、洗車とコーティング技術を生かして再建した。

一方で非行歴のある少年たちを積極的に受け入れ、これまで133人を雇用。「面接したら断りません。解雇することもありません。彼らには戻るところがありません。少年たちは家庭でも社会でも居場所を探しています。私は彼らの話を一生懸命聞きます。聞くことで信頼されます。非行に走らないためにはどんな大人たちと出会ったかが非常に大切です」と強調した。

また、SS経営について「販売量は多くはないが、安売りはしません。最低でも15円の口銭を確保しています」と語る。

それを補っているのがコーティングの収益。独自に成分や配合などを工夫し、試行錯誤を重ねて「Nポリマー」と「Nムース」を開発した。Nは野口氏の頭文字で、それだけ自信を持っている。品質や技術が知られ、いまでは全国の400SSで使われるようになった。各地でセミナーを開き、技術を実地指導している。

野口社長は「SSは利益を出さなくてはなりませんが、成果主義でなく、一生懸命さを評価しています。お互いを認め合い助け合いながら成長して行くことが目的です。悪いところを直すより、良いところを見つけて、ほめる方が成長します」と結んだ。

九州経産局

再生エネ〝先進地〟九州

FIT全国の2割占める

九州経済産業局が発表した「再生可能エネルギー発電の現状」によると、2012年に固定価格買取制度（FIT）が開始されてから2015年11月末までに、九州で新たに運転を開始した導入量（運転開始出力）は513万キロワット、累積の設備出力は821万キロワットに達した。

FIT開始前の累積の設備出力（308万キロワット）に比べ、2・7倍となった。全国の20・2％を占め、九州が再生エネルギーの〝先進地〟であることがわかった。

エネルギーの内容は太陽光発電がほとんどを占め、FIT開始後に運転開始した出力は497万キロワットで九州地区の再生可能エネルギーの97％。1000キロワット以上のメガソーラーは、179万キロワットで、九州の再生可能エネルギーの35％に達した。

県別のメガソーラーの運転開始件数は福岡県が236件で最も多く、鹿児島県（180件）、熊本県（128件）と続く。

また、九州での再生可能エネルギー発電の認定設備出力は、1857万キロワットとなり、実に全国の22％を占めている。九州の導入量で太陽光に次いで大きいのはバイオマスで10万3000キロワット、風力の4万6000キロワット、地熱の9000キロワットが続く。太陽光は買取価格が減少し、〝頭打ち状態〟になっているが、自然条件を生かした地熱や風力、水力発電はまだ未開発。SS業界でも大分石油（大分市）が風力発電事業に参入するなど、新しい動きも出ている。

大分石油の「小形風力発電」

ホンダ・熊本県とコラボで

くまモンスクーター発売

くまモンをデザインしたスクーター

ホンダは、熊本県とのコラボレーションで、同県マスコットキャラクター「くまモン」のイメージをデザインした原付スクーター「ジョルノ・くまモン・バージョン」を15日に発売する。

おしゃれで高級感のあるデザインと、使いやすさで好評の「ジョルノ」をベースに、くまモンのイメージカラーである黒と赤を基調にツートーンカラーのシートやくまモンをイメージした赤のグローブボックス、インナーボックスなど、あちこちにくまモンを感じさせる。

また、フロントカバーにはくまモンのイラストをあしらったエンブレムを採用した。

三角理事長「地方の声反映を」

熊本支部長会

熊本石商・協（三角清一理事長）の支部長会が先ごろ、熊本市で開催され「全石連の今後の方針に地方の声を反映させよう」という意見が交わされた。

三角理事長は全石連の活動について、来年度事業としてSS経営者が抱える経営改善、事業継承などの様々な問題を相談できる窓口を設置することを説明し、活用を要請。また今期限りで勇退する関正夫・全石連会長の後任に現副会長で全国油政連会長の森洋氏が内定したことを報告し「新体制がスタートすることで、我々も新たな気持ちで地域の現状や問題点について声を上げ、活動に反映させよう」と述べた。

「地元の声を全石連に」と述べる三角理事長

大分・柴田武司氏評伝

組合の原点は「販売店の立場で」

大分石商・協元理事長で柴田石油商会の創業者、柴田武司氏が3月25日、逝去した。1975年に理事長に就任し、2001年に西謙二理事長にバトンタッチするまで組合のけん引役になり、全石連副会長、九州支部長なども務めた。80年に石油会館を完成させ、83年にSS美化コンテストを実施。全国に先駆けて86年に「第1回大分県石油感謝の日の集い」を開催、現在は「リレーマラソン大会」として秋の豊後路を飾るスポーツイベントとして定着している。

理事長を退く時、「組合のリーダーとして最も大切なことは販売店の立場に立つこと」と言い残した。西理事長はいまでもその言葉を大切にしている。（九州支局長・工藤正彦）

「共存共栄」の信念を貫いた柴田氏

TMC TOMINAGA MFG CO
“燃料供給システム”の明日に取組む
Silkyline シルキーライン
ハイグレードなサービスステーションを演出。

AQUATECT

誤って油中に混入した水を、車輌に給油してしまうトラブルを未然に防止します。
計量機内部に水検知センサーを設け、水を検知すれば強制的に給油をストップ。
油中に含まれる水を高精度で検知し、SSでの水混入トラブルを回避します。
シグナルランプ　※オプションとなります。

給油中や待機中等、計量機の状態を表示器上部のＬＥＤランプでお知らせします。ＳＳのラッシュ時にも、ランプを確認することでスムーズな誘導が可能となります。
グリーン点灯 ▼ 待機中
グリーン点滅 ▼ 給油中
イエロー点滅 ▼ オートストップ
レッド点滅 ▼ エラー
http://www.kyoto-tmc.co.jp
株式会社富永製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)283-0511 FAX(022)283-8355
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店京都 ☎(075)801-0711 FAX(075)801-2083
関西支店大阪 ☎(06)6443-2751 FAX(06)6443-2488
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

出光 204人のＩＴＭを認定

出光興産はこのほど、出光テクニカルマスター（ＩＴＭ）認定式を行い、新たに２０４人を認定した（写真）。

ＩＴＭは、販売店営業担当者の燃料油・潤滑油の商品知識や提案力強化を通じて、顧客の課題解決に役立てることを目指し、２００９年度から導入した同社独自の資格制度。燃料油・潤滑油の各部門の資格をⅠ～３級に区分し、国家資格の有無や経験年数、研修の受講歴などの基準を満たし、筆記試験合格者を認定している。これまでに燃料油部門で累計２６４人、潤滑油部門で３８４人が認定。ＩＴＭｓと呼ばれる外販担当者の全国組織を置き、ＩＴＭｓの各支部では継続して、石油製品の知識習得に加え、周辺設備の構造や関連法規など幅広く知識・技術・提案力を研鑽している。

15年度は新たに1級11人、2級75人、3級118人が認定された。

キグナス 7部門で18ＳＳを表彰

キグナス石油はこのほど、都内で2015年度全国優秀ＳＳ表彰式（写真）を開催し、総合優秀賞のほか、ＭＯＦ（ガソリンと軽油の販売量）やカーケア収益、オイル、洗車、車検、安定指数、ＱＨＣの7部門で合計18ＳＳを表彰した（写真）。

若澤雅博社長は「石油は災害に強い分散型エネルギーであり、普段から人々の暮らしや経済に欠くことのできない基幹エネルギーでもある。石油業界は人々のライフラインに携わっており、特にＳＳに従事しているスタッフは震災直後は存在感を示したが、平時でもお客様の安全なカーライフサポートや燃料供給だけでなく、〝私のカーライフガレージ〟であることをもっとアピールすることをお願いしたい。今回表彰されるＳＳはグループ内でもトップレベルのＳＳで、他のＳＳを引っ張っていく存在になってほしい」と期待を寄せた。

バンパーキズの補修に水性パテ

武蔵ホルト

武蔵ホルト（東京都千代田区、渕田昌嗣社長）は、バンパーの浅いキズを補修する水性パテを発売した。固まる前なら水で落としてやり直せる。キズの補修は下地が整っていないとペイントを塗った際に目立つため、初心者でも使用しやすい、やり直せる商品を投入した。

対応するキズは深さ1ミリメートル。パテはヘラで整える。カラーはホワイト、ブラック、シルバーの3色。価格はオープン。

『テレスタンド』

懸垂式計量機を刷新

富永製作所

ＬＣＤで視認性向上

【京都】富永製作所（本社：京都市、大蔵浩二社長）は、懸垂式計量機「テレスタンド」を１日からモデルチェンジして発売を開始した。同社は1963年以降、約50年にわたって懸垂式計量機をラインナップしてきたが、敷地面積を有効に活用したいといった顧客から、給油効率の高いＳＳを構築できるとしていまだに評価が高い。

今回のモデルチェンジでは、表示器を「ＬＣＤ表示方式」に一新し、昼夜を問わずはっきりと見やすい表示へと進化させて視認性の向上を図った。外形寸法は従来機と変更がなく、既存スタンドに前モデルが設置されている場合でも、ケーシングはそのままで、表示素子を交換するだけでＬＣＤ表示への改造が可能になるよう設計している。新機能としては、表示器下に配置したＬＥＤランプで給油状態が一目でわかる「シグナルランプ」を標準搭載。ＬＥＤランプを確認するだけで、スムーズな車両誘導が可能で、点灯状況は、待機中→消灯、給油中→緑点灯、ノズルのオートストップが作動したら緑点滅となる。

開発に際しては、表示の見え方にもこだわり内部照明を多数のＬＥＤで構成することにより、きれいで見やすい表示器へと進化させた。

また、テレスタンドを構成する機器であるポンプユニット、ホースリール、制御盤、操作盤は従来機を踏襲しており、シングル、ダブル、トリプルのフルラインナップ構成としている。

最新機能を搭載した富永製作所のテレスタンド（新型のノズル㊤と表示器㊦）

トレンド・ア・ラ・カルト

ZENSEKI

プリウスに新車用タイヤ４種採用

■東洋ゴム工業■

東洋ゴム工業は、トヨタ自動車が発売した新型ハイブリッド車「プリウス」の新車装着用タイヤとして「ナノエナジー」ブランドが採用されたと発表した。プリウスの採用製品は４種類。サイズは日本市場向け「ナノエナジー Ｊ59」が「195／65Ｒ15・91Ｓ」、米国市場向け「同Ａ92」が「Ｐ195／65Ｒ15・89Ｓ」、欧州市場向け「同Ｊ61」が「195／65Ｒ15・91Ｈ」、日本と欧州市場向け「同Ｒ41」が「215／45Ｒ17・87Ｗ」。

岡山の過疎地でモビリティ計画に協賛

■住友ゴム工業■

住友ゴム工業は、岡山県美作市でスタートした「上山集楽みんなのモビリティプロジェクト」に協賛したと発表した。同プロジェクトで導入している超小型モビリティに低燃費タイヤ「エナセーブ　ＥＣ203」を供給。過疎化が進む同地区で持続可能な地域経済の活性化を支援する。同社は今回のタイヤ供給のほか2014年から同地区で棚田再生に向けた田植えなどを実施している。

コンビニで自動車保険見積もり開始

■アクサ損保■

アクサ損害保険は、ファミリーマートで自動車保険の見積もりができるサービスを開始した。コンビニエンスストアのマルチコピー機に必要情報を入力し、現在加入している自動車保険証券をスキャンすると最短５分で見積もりを作成する。コンビニエンスストアのコピー機を使った見積もりサービスは日本で初めて。

フォーカス関東

ZENSEKI

水素社会実現へ ―加速するＳＴ開所―

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、関東各地でも水素ステーション（ＳＴ）の開設が急ピッチで進んでおり、これまで大都市中心だったが、甲府市内でもオープンするなど、着実に地方へと広がっている。元売関係ではＪＸだけでなく出光も商用の水素ＳＴを成田空港内に開設した。関連したシンポジウムも各地で行われるなど、社会的な関心も高まり、水素社会実現に向けて動きは加速する一方だが、各地のＳＳ業者からはビジネスにつながるのか疑問視する声は依然として根強く、ビジネスモデル確立に向けて、より一層のコスト削減などの取り組みが求められる。

関東経産局

シンポジウムで普及促進 〝関東連携体〟構想を披露

関東経済産業局は先ごろ都内で「広域関東圏水素・燃料電池シンポジウム」を開催した。

同シンポでは、経産局が「関東圏水素・燃料電池連携体（仮称）」の構想を明かした。関東広域圏の水素社会実現に向け、水素ＳＴや燃料電池自動車の普及促進のほか、関連産業の振興を目的に、関係者間の情報共有や関連産業の支援を行うためのプラットフォームとなることを目指している点を強調した。

また、講演や事例発表を行い、資源エネルギー庁は「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」について解説した。山梨県や、さがみはら産業創造センターは、それぞれの取り組みを通じ、中小企業連携による製造業活性化への期待を寄せた。

大阪科学技術センターは、資源エネルギー庁から受託した「水素・燃料電池分野でのビジネスマッチング」について解説。セミナーや展示会、個別相談会などに取り組んでいることを述べ、「現状だと部品は一部海外から輸入しているものもあるので、国産化を望む声が強い」と強調したが、「部品1つをみても、複数のパーツを組み合わせるなど複雑だ。それぞれの分野に精通したメーカーを取りまとめるリーダー的な存在が必要だ」と指摘した。また、部品だけでなく、建設や運用面でも多くのニーズがあることを強調し、産業活性化へ期待を寄せた。

JARI

最新の技術動向など講演

ＪＡＲＩ（一般財団法人日本自動車研究所）は、このほど「ＦＣＶ量産化と水素エネルギーがもたらす循環型社会とは」をテーマにシンポジウムを開催し、最新の燃料電池車（ＦＣＶ）や水素エネルギーの技術動向などの講演と、水素社会実現に向け、課題を議論するパネルディスカッションを行った。

講演は2部構成で、第1部では、水素がもたらす循環型社会について、東京工業大学の岡崎健特命教授や川崎重工業、岩谷産業がそれぞれの立場から、水素サプライチェーン構築に向けた取り組みや課題について解説した。

第2部では、ＦＣＶが目指す新しいクルマ社会をテーマに、本田技研研究所、ゼネラルモーターズ・ジャパン、ＪＡＲＩがそれぞれ、燃料電池自動車の開発動向や安全・安心に関する取り組みについて解説。特に、本田技研は給水素装置としてソーラー水素ＳＴの「ＳＨＳ２」を紹介。コンプレッサーを使用しない、差圧式高圧水電解システムを採用しているため、静音性に優れている点を強調した。

パネルディスカッションでは、国際自動車ジャーナリストの清水和夫氏の司会進行のもと、講演した講師らがパネリストとして意見交換した。

また当日は、先月10日に発売されたばかりのホンダのクラリティフューエルセルと、トヨタのミライを展示し、技術担当者による説明を行った。

㊤経産局主催のシンポジウムでは、地元製造業活性化に向けた取り組みが紹介された
㊦ＪＡＲＩの会場ではホンダの新型ＦＣＶ『クラリティフューエルセル』も展示

出光

成田空港内に先月オープン

石油業界ではＪＸエネルギーが中心となって、急ピッチで水素ＳＴの整備を進めている。今年に入り、東京、千葉、埼玉、千葉と相次いで開設した。出光の動きは広がっている。

開所式では、千葉県が保有するミライに充填

成田空港の敷地内に、同社初となる「成田水素ＳＴ」の営業を開始した。実証・研究事業の一環として運用してきたものを、商用化に向けて改修したものだ。水素の販売価格は、消費税別でキログラム1100円。支払い方法はクレジットカード払いのみとなっている。

東燃ゼネ、昭シェルの設置は未定だが、ＪＸ１社のみの展開から、他の元売へと開設の動きは広がっている。

岩谷産業

山梨でも営業開始

水素ＳＴはこれまで4大都市圏を中心とした地域での開設が主だったが、岩谷産業は山梨県甲府市内で「イワタニ水素ＳＴ甲府」の運営を2月23日から開始した。県が燃料電池に関する施策を強力に推進するため発足した「山梨燃料電池産業化推進会議」や山梨大学、山梨交通と連携して普及を目指す方針だ。

同水素ＳＴは県内のＦＣＶユーザー利用を念頭とした、液化水素によるオフサイト供給方式を採用している。燃料となる水素は千葉県市原市にある、岩谷瓦斯の千葉工場からローリーにて輸送するという。水素社会実現の波は確実に地方へと波及しつつある。

ＳＳの反応は様々

急ピッチで整備が進む水素ＳＴだが、地場ＳＳ業者からは、新エネルギーに対して期待する声が上がる一方で、ビジネス上、疑問視する声も根強い。

茨城県内の特約店社長は「いまは変化の時代。ただ見ているだけでなく、なんらかの形で対応できるようにすることは必要では」と述べる。

千葉県内の特約店社長は「現実にＦＣＶが普及していけば、水素ＳＴをやらざるを得ないだろう。社運を賭けたプロジェクトになるかもしれない。あとはリスクの問題だ」と可能性に期待を寄せる。

埼玉県内の販売店社長は「やってみたいと思うが、多額のコストが問題。高圧で管理すると電気代など維持費はべらぼうにかかるだろう。正直、ビジネスとして成立するのか疑問だ」と新規投資をためらっており、普及拡大に向けて、より一層のコスト削減が強く求められている。

創業50周年アニバーサリー機　FK-2 TRIBE WASH ZETA　FK-2トライブ ウォッシュ ゼータ

洗車で生涯顧客を創りカーケア収益をUPする!

新コーティングシリーズ「FK-2 TRIBE」の高品質な仕上がりを最大限に活用する機能を搭載!
リピーターを拡大し固定客を囲い込む「洗車生涯顧客」の創造を支援します!!

i型オペレーション

これまでの洗車機コーティングにはない最高のツヤと輝きだ!!

ZETA導入店の声
収益増だけでなく、固定化に抜群の効果を発揮していますよ!
ZETAを導入してから、ショー効果を狙ったオプション「トラストリフォーマー」との併用で洗車機収益は右肩上がり! ガラス系コーティングの「プリズムグラスコート」も大好評で固定化にも威力を発揮しています。

新コーティングシリーズ

フッ素系化合物を配合した「FK-2 ハイパー」、ガラス系コーティングの「プリズムグラスコート」を筆頭とした、新コーティングシリーズ「FK-2 TRIBE」。

FK-2 TRIBE WASH ZETA(PRIME仕様)

QRシステムでお客様の「再来店」を促しファミリー会員で「固定化」をする!!

新会員システム、新QRシステム※

カーケア収益確保に繋がる洗車生涯顧客創りをサポートする新会員と新QRシステムを搭載した新型オペレーション!!
※QRシステムはオプションとなります。PRIME仕様は標準装備です。

ZETA導入店の声
新機能を活用した新しい洗車販売戦略を展開中です!
新機能である「ファミリー会員」の導入でおよそ600名の固定客を確保、プリカ販売の時よりも平均客単価がアップしました! 今後はQRシステムも利用して週末に集中しがちな顧客を平日へ分散していきたいと考えています。

Beauty ビューテー株式会社　50th SINCE 1965
■本社　名古屋市港区木場町2番地
TEL 052-692-2101（大代表）
http://www.beauty.gr.jp
ビューテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得しています。
洗車機製造部門タケウチテクノは品質管理に関する国際規格ISO9001の認証を取得しています。
E&I Ecology & Innovation
■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
名古屋支店　岐阜支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　九州支店